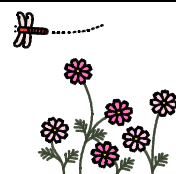


長小だより

R 3 . 1 0 . 1

10
月号



主体的な学びと子どもたちを見守っていく教育の必要性について

夏休みが明けて、あっという間に1か月が経ち、今日から10月が始まります。日中は暑さを感じることもありますが、朝夕の涼しさや夜に響き渡る虫の音から、いよいよ秋本番と呼ぶにふさわしい季節になりました。

さて、先日は「タブレット端末の持ち帰りの試行」及び事後アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。書面でお知らせしましたように、国のGIGAスクール構想の一環として、長久手市より児童1人1台のタブレット端末が整備されています。今後は、事後アンケートでいただいたご意見を参考にして、持ち帰りでの活用も含め、タブレット端末を使った授業をより推進し、パスワードの再設定を含む情報モラルについても、合わせて指導を徹底して参ります。

子どもをとりまく現在の社会は、技術革新のスピードが速く、経済や社会構造の変化が著しい時代になっています。このような時代を生き抜くために必要なのは、「自ら考え、自ら判断し、自ら行動する資質」です。そうした中で、学校には、「自律」した児童の育成に重点をおいた教育活動を進めていくことが求められます。特に授業においては、「教師が教える授業」から「子どもが学ぶ授業」への転換が不可欠です。その方策の一つとして、タブレット端末を効果的に使うことは、子どもたちが主体的に学ぶ授業への移行をスムーズにするものであると考えています。子どもたちが自ら考え、自ら判断し、自ら行動する素地を身につけさせる。そうするためには、我々教員はもちろん、保護者の皆様方も子どもたちへの声掛けや接し方を見直していかなければなりません。今までのように一つの方向性を示し、これが正しいのだと子どもたちを引っ張っていくのやめ、子どもたちが本来もっている主体性を発揮できるよう、見守っていく教育が大切であるとと考えています。

保護者の皆様や地域の方々のご支援とご協力があるからこそ、安心・安全で豊かな学びのある教育活動を行うことができます。コロナ禍ではありますが、ぜひ学校に足を運んでいただき、子どもたちが学ぶ一生懸命な姿を直接見ていただけたらと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。
(文責 校長 森田浩基)

2年生「まち探検」 9月15日(水)・22日(水) [10/5(火)]

生活科の学習として、2年生が「まち探検」に出かけました。今年度は3日間にわたり学区内を探検します。両日とも天候に恵まれ、汗びっしょりとなりながら、しっかりと学習することができました。



避難訓練 9月17日(金)

17日(金)には、避難訓練を行いました。非常ベルがなりましたが、落ち着いて行動することができました。今回は火事が起こったことを想定した訓練でしたが、災害はいつ起こるかわかりません。いざというときに落ち着いて行動できよう、これからも考えていきます。



9月8日(水)は、野外活動・修学旅行説明会を開催しました。緊急事態宣言下での開催となったため、動画での配信も行いました。10月6日(水)・7日(木)には6年生が修学旅行に、12日(火)・13日(水)には5年生が野外活動に出かけます。感染防止対策を講じ、十分に準備をして当日を迎えたいと思います。



9月30日(木)に緊急事態宣言は解除され、10月1日(金)から17日(日)までは愛知県独自の厳重警戒措置が適用されます。専門家の話では今後も感染は増減を繰り返すとのこと。収束するまではマスクの着用や手洗い・手指消毒、換気を行いながら、学校生活を営んでいく必要があります。集団生活を送るためには、ご家庭の協力も欠かせません。どうぞよろしくお願いいたします。「緊急事態措置延長に伴う教育活動ガイドライン(R3.9.13)」でお伝えしているように、新型コロナウイルス感染者が判明したときのメール配信につきましては、長久手小学校に関してのみの配信となります。他の学校で感染者が判明した場合はメール配信はありません。ご承知ください。